

東京都市大と 東大生研が連携

東京都市大学（旧武蔵工業大学、東京都世田谷区、学長中村英夫氏）と東京大学生産技術研究所（東大生研、東京都目黒区、所長野城智也氏）は3月26日、学術連携覚書を締結し、人材交流や共同研究などを進めていくことを決めた。

両者は、基幹技術者育成に長年の実績を持つ東京都市大と、最先端研究や産学連携を進めている東大生研の相互の特質を生かす意向で、①若手教員の相互交流②教育活動の相互協力③共同研究の実施④学術に関する情報の交流——などについて協力していく。

覚書締結後、野城東大生研所長は同研究所が最先端研究の「斬り込み隊長」として進むと、後から他の研究者がどんどん付いてきたこれまでの状況と異なり、研究会の動きが鈍くなっている指摘した。同研究所は、現状打破のためのパートナーを都内の工学に特化した学校に求め、同研究所と似たカルチャーを持つ東京都市大に出会ったことを明らかにし、今後は小さなこと・できることから確実・着実に進めていくと述べた。

中村東京都市大学長は、国立・私立の相違を乗り越えて提携を進め、ウィン・ウィンの相乗効果を発揮したいと述べ、自大学にとっては東大の優れた人材、施設・設備の力を研究に利用できることが魅力と語った。提携の有効期間は、4月1日から2013年3月31日まで。双方から終了の意思表示がない場合は、1年間ずつ自動延長される。

無断転載禁止

著作権は機械新聞に帰属します

転載承認済